



AIYES 通信

横浜スペイン交流協会会報

2001年10月1日発行 第29号 発行・横浜スペイン交流協会事務局

みなとみらい21地区で 「アンダルシア州フェア・IN・横浜」開催 横浜スペイン交流協会が後援し、協会主催イベントも同時開催

2001年10月5日（金）から14日（日）の10日間にわたり、みなとみらい21地区のワールドポーターズを中心に、アンダルシア州経済振興公団と（財）横浜産業振興公社が主催者となって、「アンダルシア州フェア・IN・横浜」が催される。当協会では、このフェアの後援をすると同時に、いくつかのイベントを同時開催する。

このフェアで催されるイベントの全ては、別表（P. 2～P. 3 下段）の通りであるが、とくに期間中ワールドポーターズの2階エントランスホールで開催される写真・絵画展は当協会が主催し、ここには協会のPRコーナーも設置される。

また6日から8日までの3日間は、おりしも連休となるので、この間ワールドポーターズ前広場において、大鍋でパエージャをつくり、この試食会をはじめ、特設の舞台がつけられ、ここでフラメンコショーなども行われる。

12日（金）スペインナショナルデーには、ワールドポーターズ6階のイベントホールで「アンダルシアの物産」についてのスペイン・サロンを開催する（別記事P. 4「スペイン・サロンへのお誘い」参照）。

この会場には、当協会のブースも設置され協会のPRを行う。ぜひとも多くの会員の参加と、ご協力をお願いするしだいである。



▲フェアの主会場となるワールドポーターズとインターコンチネンタルホテル

スペイン大使館主催 「日西関係協会会合」 開かる

梅雨の晴れ間の6月8日、東京六本木のスペイン大使館・大使公邸に、北は北海道から、南は四国の今治までの11箇所から各地のスペイン協会の会長・副会長をはじめとする役員が集まった。

これは、ホアン・レニャ駐日スペイン大使が、日本国内各地にあるスペイン協会に一堂に集まっていただき、交換会を開催したいというかねてからの計画が実現したものである。

これに賛同したのが北海道スペイン協会、宮城スペイン協会、(財)日本スペイン協会、日本サラマンカ大学友の会、日本・カタルーニャ友好親善協会、横浜スペイン交流協会、名古屋スペイン協会、岐阜県スペイン友好協会、関西日本スペイン協会、神戸日西協会、日西文化協会TORAの11協会である。

アンダルシア州フェア・IN・横浜 (2001年10月5日から14日)

10月5日(金) オープニング	6日(土)	7日(日)	8日(月)	9日(火) ワイン	10日(水) ガストロノミー
11:00 オープニングセレモニー & レセプション (インターコンチネンタル)	フラメンコ フェスティバル - フラメンコショー - フラメンコアカデミー デモンストレーション バエージャ試食会 等			14:00-16:00 - シェリーセミナー (対象: ソムリエ) (WBCイベントホール)	
14:30-16:30 ワインセミナー (対象: インポーター、 小売業者、プレス関係者) (WBC会場)	シェリー酒ベネンシア及び 生ハムカッティング デモンストレーション			14:30-16:30 ワインセミナー (対象: インポーター、 小売業者、プレス関係者) (WBC会場)	14:30-16:30 - オリーブオイル・セミナー & 料理講習会 (アンダルシアシェフ来日) (対象: シェフ) (インターコンチネンタル)
17:30- アンダルシア観光セミナー (スペイン観光局、旅行代理 店) (WBC会場)	フラメンコ衣装記念撮影 アンダルシア製品展示 (販売) 横浜スペイン交流協会ブース				
	スペイン政府観光局ブース 運河パーク広場 (雨天の場合ワールドポーターズ2階 エントランスホール)				
◆ ワールドポーターズエントランスホール ・スペイン/アンダルシア絵画・写真展 (横浜スペイン交流協会) ・パネル展 (アンダルシア州及びオリーブオイルの紹介) ・アンダルシア特産物展示 (オリーブオイル、シェリー酒、他) ・ビデオ試写: ロシオ巡礼の道、アンダルシアの紹介、他			◆ ヨコハマグランド インターコンチネンタルホテル ・アンダルシアグルメフェア (スペインよりシェフ来日: ラ ・シェリーカクテルフェア (スペインより*ベネンシアドー ウェルカムドリンクのサービス *シェリーを樽から長い柄杓のようなものでシェリーグラ ・アンダルシアマーケット (フラメンコグッズ、陶器、皮革製 ・スペイン政府観光局も出展、スペイン観光資料を提供		

WBC:
横浜産業振興公社ワールドビジネスセンター
(ワールドポーターズ6階)

*注
イベント内容及び日時は、変更する場合がございます。予めご了承下さい。

各協会とも10分間の持ち時間内で、協会の概要を説明、活動内容を紹介ということになっていたが、いずれの協会も発表に熱心で、予定時間をはるかにオーバーした。

当協会では、下山会長が発表し、これを栗山スペイン語教室講師が通訳したが、下山会長の発表後とくにホアン・レニャ大使は発言を求め、参加者全員に昨年暮、下山会長がイサベル女王勲章オフィシャル十字型章を受けられたことを報告された。

各地協会の発表が終わって、大使館から立食式の昼食が提供され、ここでは各協会毎の意義ある交換風景がみられた。



▲横浜スペイン交流協会を紹介する下山会長（中央）と通訳の栗山会員（右）

11日（木） オリーブオイル	12日（金） イスパニアディ	13日（土） フラメンコファッションショー	14日（日） クロージング
11:00-12:30 - オリーブオイル・セミナー （対象：インポーター、小売業者、 プレス関係者） （WBC会場） 14:30-16:30 - オリーブオイル・セミナー & 料理講習会 （アンダルシアシェフ来日） （対象：シェフ） （インターコンチネンタル）	10:30-11:30 - オリーブオイル・セミナー （対象：医療・健康食品関係者） （WBC会場） 13:30-15:00 横浜スペイン交流協会例会 スペイン・サロン 「アンダルシアの物産」 （テーマ：オリーブ オイル、 生ハム、シェリー） （WBC会場）	13:00-15:00 - シェリー・生ハムセミナー （対象：日本バーテンダーズ協 会会員） （WBC会場） 14:30-16:30 - オリーブオイル・セミナー （対象：主婦・一般） （インターコンチネンタル） 17:00-18:00 - フラメンコモード ファッションショー（I） （対象：招待客） （インターコンチネンタル） 19:00-20:00 - フラメンコモード ファッションショー（II） （対象：招待客） （インターコンチネンタル）	13:00-15:00 - シェリー・生ハムセミナー （対象：日本バーテンダーズ協 会会員） （WBC会場） 14:30-16:30 - オリーブオイル・セミナー （対象：主婦・一般） （インターコンチネンタル） 16:00- - 闘牛セミナー （対象：闘牛の会員・一般） （講演者：荻内 勝之 東京経済大学教授） （WBC会場） *アンダルシア観光セミナー （スペイン観光局） （WBC会場）
	*- アンダルシア観光セミナー		

ランチ&ディナー）
ル来日）

スに注ぐ専門職人
品、食品など販売）

- ◆ マイカル ワールドポーターズ店
・アンダルシア州特産物の販売（オリーブオイル、シェリー酒、生ハム、パエージャの
冷凍食品、他）
*期間中アンダルシア製品お買い上げのお客さまに特典
- 本格的フラメンコファッションショーにご招待（お買上げ金額：5千円以上）
- インターコンチネンタルホテルのランチご優待券（お買上げ金額：2千円以上）

*お問い合わせ先
スペイン・アンダルシア州経済振興公団
Tel : 03-3438-2153 Fax : 03-3438-2154 E-mail : ifatok@golcom

***** スペイン・サロンへのお誘い *****

10月、11月のスペイン・サロンのご案内を致します。会員相互の交流の場であり、また、スペイン文化のいろいろな面を多角的に知る絶好の場でもありますので、ご家族や、ご友人など会員以外の方のご参加も心から歓迎いたします。

スペイン・サロンは原則として、毎月第3土曜日の午後2時から開催いたしておりますが、10月例会は別項でご案内の通り、「アンダルシア州フェア・IN・横浜」の中の一環として参加を致しますので、下記の要領になっております。ご注意ください。

●2001年10月例会

日 時： 10月12日（金）13：30～15：00

場 所： 横浜ワールド・ポーターズ 6階イベント・ホール（みなとみらい21 新港地区）

テーマ： 「アンダルシアの物産」

アンダルシアはシェリー酒で特に有名ですが、その他にも生ハムや、オリーブなども特産としてあります。当協会の山崎宗城氏のワインの話を中心に、スペインからのベネンシアドールやコルタドールが特別参加しての実演も交え、アンダルシアの特産品について紹介をします。ご期待下さい。

●2001年11月例会

日 時： 11月17日（土）14：00～16：00

場 所： 県民サポートセンター 7階709号室

テーマ： 「スペイン音楽の魅力について」

スペイン音楽に魅せられて、多くのレコードを集めて40年。定年後の楽しみとして、スペイン音楽史を勉強されている当協会会員の安田秀之さんがお話をしてくださいます。その後、自由歓談とします。

●2001年12月例会 12月度はお休みです。

担当：大竹智栄子
宮川美句子

鎌田 暁子
牧瀬 貢

スペイン人に聞くスペインの話

●6月のスペイン・サロン

かねてから念願だった、スペイン大使夫人カルメン・レニャさんにスペイン・サロンへお出でいただくという企画がついに実現した。

さらに急遽、大変お忙しいレニャ大使ご自身までがご夫人と共に、サロンに参加されるということになった。いつもの例会と同じかながわ県民センターの一室で20数名が集まり、大使ご夫妻を囲んでゆっくり話し合いをすることができた。大使ご夫妻も公式行事とは違い大変リラックスされ、いっしょに会話を楽しまれている様子だった。

テーマは特にもうけず、いろいろな話が飛び出したが、まずは闘牛の話から。

大使は闘牛が大好きだが、じつは、カルメン夫人はあまり好きではないとか。その理由は、闘牛士が大怪我をしたり、死んだりすることがあるからのようです。しかし、「今ヨーロッパが統一に向かってあらゆる面で同一化していく中で、各国や各地方がそれぞれの文化の特色を失わず大切にしていくことが、むしろ大事なことだと思う」ということで、スペインの闘牛などの伝統文化を守っていきたいとおっしゃった。

話は旅行、シェリー酒、時間感覚などの文化の違いと、多岐にわたったが、やはり女性なので、料理やファッションの話が特に盛り上がった。

アスパラガス料理の作り方の説明では、コツは直火でなく湯煎にすると卵がふんわりとやわらかく仕上がるなどと、スペインの一主婦の感覚でのお話にとっても親しみが感じられた。

カルメン夫人の気さくで、気取らないお話と、大使のほかにJoan、Pacoの二人のスペイン人会員も参加しており、スペイン勢が多かったので、冗談もとびだし、大変和やかな雰囲気、スペイン人とスペイン文化を語り合うことができた楽しい集いだった。

報告者：寺原瑛子



▲スペインの一主婦としてお話しする、スペイン大使夫人

● 7月のスペイン・サロン

サラマンカ出身で、当協会の会員のPacoさんが、故郷サラマンカ近辺のお祭りについて紹介した。

スペインにはパンプローナのサンフェルミン祭、セビージャの春祭り、バレンシアの火祭りといった三大祭りの他、トマトを投げ合うトマティーナなど変わったお祭りがあることは知っていたつもりですが、Pacoさんの紹介された7つの祭りもそれぞれ地方独特の風習が取り入れられたお祭りと感じた。

お祭りは農閑期の冬に行われるものが多く、紹介されたもののほとんどは1月から3月に行われるものだった。コウノトリが渡ってきていればその年は豊作になるなど、農作業に関連したものもあるのは当然でしょう。

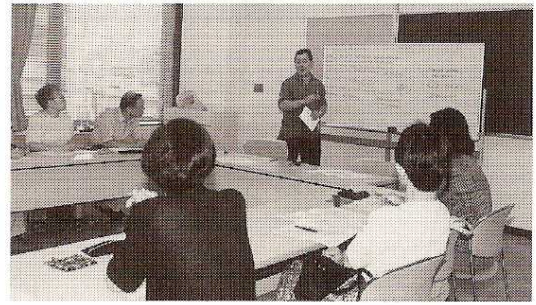
その中、私が興味を引いたのは、思いを寄せる人の窓辺に花を飾る説明のところで、あまり好きでもない人の所では良い花を飾らないとか、女性が一日だけ何でもして良い日があり、男性は女性に見つからないように逃げまどうという話でした（はたしてPacoさんは逃げたのでしょうか）。

日本の田舎にもばからしいと思われる風習があり、それが次の農作業の励みになったとも聞いています。どこの国でも地方でも外から見ればバカげたと思う風習が残ったお祭りがあり、スペインも例外ではないということが判った。

いずれにせよ、本には書いていないスペインの風習を聞くことが出来て、大変興味深いものでした。

入会したばかりですが、今後もスペイン・サロンに積極的に参加して、スペインの知識を深めたいと思う。

報告者：村田 誠



▲サラマンカ周辺の祭りについて語るPacoさん

スペイン語教室紹介第1回 ヒラソル教室

今号から、当協会が主宰しているスペイン語教室を連載で紹介する。未だスペイン語教室に参加してはいないが、この記事に興味を持たれた方は、ぜひ一度教室の授業を参観してみたいだろうか。

当協会には現在スペイン語講座が6教室あるが、第1回の今回は、その中の「ヒラソル」教室を、受講生の一人の言葉をかりて紹介する。

「ヒラソル」教室の授業は、月3回、水曜日午前10時30分から12時まで。講師はスペイン人のジュアン・ドラド先生、生徒は14名（うち男性5名）。

ヒラソル教室は、Joan Dorado先生のご指導による、とても活気のある楽しいクラスです。授業は今、「CONGRESO EN GRANADA」という、殺人事件をめぐる話が展開する本を毎回少しずつ読み進めている他に、色々なテーマについての会話練習や文法練習など、盛りだくさんです。

毎時間、先生のすごい熱意が私たちに強く伝わってきて、1時間半があつという間に過ぎてしまいます。また、スペインと日本の文化の違いを話し合ったり、もしスペインに行くとしたらどこへ行きたいか等、単に語学の勉強だけでなく、スペインについて、いろいろ学べるのも大きな魅力です。

クラスには、スペイン語圏での生活を経験された方も何人かいらっしゃるのですが、そういう意味で個人差のある十数名を、先生がうまくまとめてくださっています。

それぞれが四苦八苦しながらも、一生懸命に頑張っています。
(クラス受講生 中根 雅子)



▲スペインを学ぶスペイン語教室、ヒラソル教室の
Joan講師

会員で、グラナダにお住まいの佐藤喜一郎さんの奥さまから、詩2編が届いたので紹介する。

カレーラ・デ・ヘニール通り

“ヘニール” 通りへ来たら
かぜは見えないけれど
黒い榆の 木々の枝えだからは
うす色に 染め分けた 花片が
しきりに舞い降りるさま まるで
日本の「桜吹雪」見ているようで
懐かしむ思い・・・・切ない
片側なる“プラタナス”の幹は もう
かなりの太さだ
かつての「人民戦争にも」
生きぬいてきた尊い姿
“アンダルシア” の間から覗ける
今“プラタナス”は沢山の鈴をつけ
平和なゆらぎを見せている

古い教会の鐘が
哀調をおびた音で鳴り響く・・・
この通りへ“セマナサンタ”の楽が
聴こえてくる

4/8 “グラナダ” にて
きよこ



▲ヘニール通りに通じるヘニール河沿いにて、会員の佐藤氏

抱き合う人形

噴水のある“カシーノ”の広場に来たら
いまだ暮れなずむ 空の下
人ばかりしているので ふと覗き見したら
人間ほどもある 人形が
抱き合い 振り回されながら
“ダンス”している姿 可笑しく
何時迄も眺めていたが・・・やがて終わり

「大道芸人」が人形のドレスの裾から
顔を出し 立ち上がった時には
汗びっしょりの熱演ぶりだった
みんなと一緒に 拍手を送り
置いてある帽子の中に“25PTS” “ポン”
心地良い「芸」の深さに
感動を覚えたひととき

4/10 “カシーノ”の広場にて
きよこ

//////////////// 新入会員紹介 //////////////////

黒田隆洋 (Takahiro Kuroda) 2001年4月14日入会

横浜市神奈川区

スペイン語の持つ独特のリズムとひびきにひかれて、なんとなく入門クラスでスペイン語を習い始めました。以来2年近く経ちましたが、今ではスペインの歴史、文化や生活にも興味を持つようになり、今回入会させていただきました。

星野りえこ (Rieko Hoshino) 2001年4月1日入会

横浜市保土ヶ谷区

スペインとの出会いは、ヨーロッパで初めて訪れた国。英語も話せない私でしたが、陽気で開放的な気質に安堵して、無謀にもひとり歩きを経験。内心ドキドキ、ハラハラのマドリッド滞在でしたが、今なお鮮やかに蘇ります。

以来、海外旅行にはまり、1998年6月からスペイン語講座にお世話になっています。聖地サンティアゴ・デ・コンポステーラは、かつてカンポ・デ・エストレージャと呼

ばれていたという一節を読んでから、サンティアゴ巡礼道を歩くことが「目標」となっています。

村田 誠 (Makoto Murata) 2001年5月8日入会

横浜市金沢区

6年前に当協会のスペイン語講座に接して以来のスペイン語歴です。
今後ともスペインとのかかわりを保ちたいので、よろしくお願いします。

平山隆一郎 (Ryuichiro Hirayama) 2001年6月11日入会

横浜市港北区

学生時代からスペインの地理、歴史、生活、文化、言語etc. 全てに興味があり、今後
もコンタクトを保っていきたいと思っています。何事によらず関連情報を頂ければ幸いです。

***** INFORMACION *****

◆日本レストランのコック募集！

先日、当協会事務局にアストゥリアス地方のヒホンで、青年実業家グループが、日本レストランを開業
したいが、それに際し、調理人を探している旨の手紙が舞い込んだ。その手紙による条件を紹介する。

対象職業：料理長。ただし調理場の監督および、支配人の補佐としての役割が果たせることのできる人物。

専門家としての条件：

- ①日本レストランで料理長として3年以上の経験を持つこと。
- ②調理士専門学校の上級免許取得者であること。
- ③職場のチームを指導監督することが習慣となっている者。
- ④外向的な性格で、コミュニケーションが上手くとれ、分析能力および統率力のある者。

報酬：経験年数などを加味したうえでの能力給。

※希望者は、推薦状および履歴書に最近の写真、実績が確認できる報告書を添えて、下記へ送付のこと。

送付先：silviamier@yahoo.es

Villanueva & Mier

C/Tomás Zarracina 5-2B. Gijón 33206 Asturias ESPAÑA

※なお、上記のほか、同時に一般料理人も募集している。条件は、日本レストランで1～2年の経験者。

調理士専門学校の中級以上の免許取得者。

◆スペイン語検定試験DELE11月試験

試験レベル：入門、基礎、上級の全3レベル

試験日：2001年11月10日（受験者多数の場合は、10日と11日の2日間）

試験開始時間：午前9時（8時30分集合）

試験場：東京、京都、福岡

受験資格：国籍がスペイン語を公用語とする国でないこと。上級受験者は16歳以上。

受験申込場所：スペイン大使館文化部

〒106-0032 東京都港区六本木1-3-29

TEL 03-3583-8582

受験申込期間：2001年9月3日～10月5日（必着）

受験申込方法：受験料を銀行振込で支払い後、必要書類に振り込み金受取書のコピーを添え、直接スペイン大使館に持参、あるいは郵送。

ースペイン・ミニミニ情報ー

◆ヨーロッパ統一通貨ユーロの誕生

いよいよ2002年1月1日よりEU（欧州連合）の統一通貨ユーロが、加盟12カ国で一斉に流通し始める。そこで、現在のスペイン通貨ペセタからユーロへの移行についての基礎的な知識を紹介する。

- 1) 2001年12月31日まで、現金の支払いに関しては従来どおりペセタで行う。
- 2) 2002年1月1日から、ユーロの現金が流通する。この日から2月28日まではペセタとユーロの併用期間となる。ただし、現金を伴わない取引はすべてユーロのみとなる。
- 3) 2002年2月28日以降は、いかなる取引もすべてユーロとなり、ペセタ通貨は使用できない。ただし、この日より6月30日までは、スペインの各銀行で手数料なしでペセタをユーロに交換できる。
- 3) 2002年7月1日以降は、スペイン中央銀行においてのみ、ペセタをユーロに無期限で手数料をとられることなく交換できる。
- 4) ユーロ相場は、為替市場において日々変動するが、ユーロとペセタの交換レートについては、例外的に1999年1月1日に永久的に固定され、今後すべての換算は以下の通り。

1 ユーロ=166.386ペセタ

5) ユーロに参加しているEU加盟国

スペイン、ベルギー、ドイツ、フランス、アイルランド、イタリア、ルクセンブルグ、オランダ、オーストリア、ポルトガル、フィンランド、ギリシア（以上12カ国）

6) ユーロに不参加のEU加盟国

デンマーク、スウェーデン、イギリス（以上3カ国）

ー賛助会員各社の会員サービス内容ー

◆事前に会員証を提示することで、下記の賛助会員企業より、標記のサービスを受けることができます。

賛 助 会 員	住 所	電 話 番 号	会 員 サ ー ビ ス 内 容
レストランオリーブ	横浜市西区高島2-5-10	045-441-4996	サングリア一杯を無料サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア一杯を無料サービス
Bar Español	カサ・デ・フジモリ関内本店前	045-651-1074	サングリア一杯を無料サービス
カサ・デ・フジモリ目黒店	J R 目黒駅（東京）徒歩5分	03-5420-5328	サングリア一杯を無料サービス
アランフェス	横浜スカイビル11階	045-442-0581	サングリア一杯を無料サービス
アマポーラ Yokohama	横浜ルミネ6階	045-453-6851	サングリア一杯を無料サービス
パラドル・デ・かまくら	江ノ電長谷駅そば	0467-22-6798	サングリア一杯を無料サービス
太陽海外航空機	東京都中央区京橋2-2-14 山陽アネックスビル	03-3281-2441	日本出入国カードの作成を無料サービス及び、成田空港使用料を、当社が負担いたします。
JTB団体旅行横浜支店	横浜市中区相生町4-75 JTB. YN馬車道ビル	045-664-2730	ツアー料金割引（但し添乗員付のみ）ルックJTB、JTBエース各3%、旅行用品割引トラベランドにて10%割引特別カード進呈
アトリエJUN	横浜市西区花咲町6-142-6	045-250-6287	ブライダルブーケ等記念の花束を10%割引で、押花額にします。
日西商事（うさぎのいる島）	横浜市戸塚区品濃町252-3	070-5024-8196	ワイン一杯を無料サービス

＜編集後記＞

冒頭の通り、アンダルシア州フェア・IN・横浜を協会がお手伝いすることになりました。このAIYES通信も会場で配布されますが、多くの人が協会を知り、そしてスペインへの理解を深めていただければと願います。

* 投稿寄稿宛先 〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター内
神奈川県民活動サポートセンター
レターケースNo.184 横浜スペイン交流協会会報係